

# 令和4年度全国学力・学習状況調査等の概要

御前崎市教育委員会

## 「学習」に関する調査結果

### 御前崎市の平均正答率(全国平均との比較)

小学校6年生			中学校3年生		
国語	算数	理科	国語	数学	理科
○	△	△	○	◎	◎

全国平均正答率と比較して

- ◎ +3ポイント以上
- +3ポイント～-3ポイント
- △ -3ポイント～-6ポイント



### 国語の結果分析

#### 〈小学校〉

**良好** 「話すこと・聞くこと」に関する問題  
例)話し手の発言の理由を考える

**課題** 「読むこと」に関する問題  
例)物語の文脈から想像できる話の展開を考える  
「書くこと」に関する問題  
例)条件に合わせて自分の考えを書く

#### 〈中学校〉

**良好** 「話すこと・聞くこと」に関する問題  
例)論理の展開に注意して発言をとらえる

**課題** 「書くこと」に関する問題  
例)引用して文章を書く

分析  
メモ

小学校、中学校ともに「話すこと・聞くこと」に関する問題は良好な結果となりました。一方で「書くこと」に関する問題に課題が見られます。一方的に自分の考えを書くのではなく、伝える相手や状況、条件などを踏まえて文章を書く力を身に付ける必要があります。また、漢字の知識の習得は比較的良好ですが、表現技法や語彙などの基礎知識の定着に課題が見られます。学んだ表現技法や語句を他教科の授業や日常生活の中で積極的に使うことで定着が期待されます。

### 算数・数学の結果分析

#### 〈小学校〉

**良好** 基礎的な知識・技能に関する問題  
例)計算問題を正確に解く  
例)最小公倍数を求める

**課題** 割合の理解に関する問題  
例)果汁20%の飲み物500mlを、250mlずつ2人に分けた場合、その250mlに含まれる果汁の割合がどうなるか考える  
考え方を説明する問題  
例)提示された式で、なぜ必要な数が求められるか考える



#### 〈中学校〉

**良好** 計算問題(連立方程式)

**課題** 筋道を立てて結論が成り立つ理由を説明する問題

分析  
メモ

小学校、中学校ともに計算などの基礎的な力を試す問題は良好な結果が見られました。一方で、式の意味を説明したり、結論が成り立つ理由を説明したりする力に課題があります。「なぜそうなるのか」「どうしたら説明が成り立つのか」という「考え方」を大切にしたり、自分の考え方を、筋道を立てて論理的に説明したりする力が必要になります。

また、小学校の「割合に関する問題」は正答率が低い結果となりました。算数・数学の学習を実生活と結びつけて授業改善を進めていきます。

② 康太さんは、 $2+6=8$ のように、同じ2つの偶数の和の他にも、4の倍数になることがあることから、さらに詳しく調べてみました。そして、次のように予想しました。

$$\begin{aligned}2+6 &= 8 = 4 \times 2 \\6+2 &= 8 = 4 \times 2 \\10+14 &= 24 = 4 \times 6 \\28+32 &= 60 = 4 \times 15\end{aligned}$$

予想2  
差が4である2つの偶数の和は、4の倍数になる

上の予想2がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2  
 $n$ を整数とすると、差が4である2つの偶数のうち、小さい方の偶数は $2n$ 、大きい方の偶数は $2n+4$ と表される。それらの和は、

$$\begin{aligned}2n+(2n+4) \\ =\end{aligned}$$

## 理科の結果分析

### 〈小学校〉

**良好** 「生命」の領域に関する問題

例) 昆虫の体のつくりを示すものを選択する

**課題** 実験結果から新たな問題を見出す問題

例) 実験結果を受け友達が試したいと思ったことを問題として捉える。

### 〈中学校〉

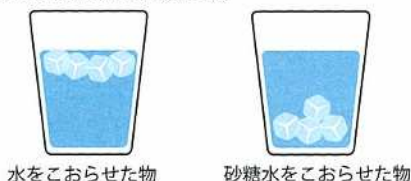
**良好** 化学反応をモデルで図示したものを化学反応式で表す問題

**課題** 課題解決の方法を見出す問題

④ 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとしずみました。

たろうさん

水をこおらせた物は、紅茶にうくのくに、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。



はるとさん

砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、他の水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。

はるとさんは、試して見たいことをもとに、「問題」を見つけました。はるとさんは、どのような「問題」を見つけたと考えられますか。その「問題」を1つ書きましょう。

分析  
メモ

小学校、中学校ともに「生命」領域の問題は良好な結果が見られました。一方で「粒子」領域に課題が見られます。特に、実験結果を受けて新たな問題を見つけたり、問題解決の方法を考えたりする力に課題があります。単純に知識を記憶するだけでなく、身に付けた知識を活用することが必要です。実験でも決められた方法で作業をこなすのではなく、自ら解決の方法を考える力が求められます。

## 「生活」に関する調査結果

### 「早寝・早起き・朝ごはん」に関する項目

#### 【スクラムスクール運営協議会重点項目「早寝・早起き・朝ごはん」】

	毎日同じ時刻に寝ている		毎日同じ時刻に起きている		毎日朝ごはんを食べている	
	本市	全国	本市	全国	本市	全国
小学6年	77.3%	81.5%	90.1%	90.4%	89.0%	84.9%
中学3年	81.0%	79.9%	94.3%	92.2%	84.3%	79.9%



10時前に寝ている児童生徒の割合  
※本市独自で実施した質問紙調査の結果

	本市	全国
小学4年	93.1%	85.4%
小学5年	94.8%	78.9%
中学1年	76.9%	48.5%
中学2年	46.2%	31.4%

10時前に寝ている児童生徒の割合は全国よりも数値が高いことがわかります。睡眠の重要性への理解が高まっています。また、朝ごはんの摂取状況も全国よりも高いです。家庭や地域の方々の支えが成果として表れています。

### 「ゲーム障害・ネット依存」に関する項目

#### 【スクラムスクール運営協議会重点項目「ゲーム障害・ネット依存」】

① 平日1日あたり2時間以上ゲームを利用している

② 平日2時間以上携帯電話やスマートフォンで動画視聴をしている

分析  
メモ

	本市	全国
小学6年	62.5%	50.2%
中学3年	62.0%	50.3%

	本市	全国
小学6年	43.1%	32.5%
中学3年	65.6%	52.0%

メディアの長時間利用は本市の子どもたちの大きな課題です。時間を決めて節度ある使い方ができる子どもの学力は高い結果が得られています。

今後もメディアとの主体的・自律的なかわりができる子どもを学校・家庭・地域で連携して育てましょう。